

33	都市整備局	快適通勤対策
事業概要	<p>鉄道の一部の区間では、混雑率が180%を超えるなど依然として混雑が発生しており、混雑状況の更なる改善が求められている。</p> <p>満員電車の混雑緩和は、社会の生産性向上のための重要な課題であることから、柔軟な働き方を可能とする時差出勤やテレワーク等の取組と連携して、多くの方々に快適な通勤を体感してもらう取組を、「時差Biz」と銘打ち、平成29年度から実施している。</p>	
これまでの経過	<p>「快適通勤プロモーション協議会」の開催</p> <p>時差Bizの取組を広く周知し、機運を醸成するため、企業、鉄道事業者、国などが参加する「快適通勤プロモーション協議会」を開催</p> <p>（1）第1回快適通勤プロモーション協議会（平成29年4月28日） <内容> [参加登録企業数 約30社] 時差Bizの参加を呼びかけ（時差Bizロゴ発表など）</p> <p>（2）第2回快適通勤プロモーション協議会（平成29年7月6日） <内容> [参加登録企業数 約230社] 時差Bizの開始宣言（PR動画の発表など）</p> <p>（3）第3回快適通勤プロモーション協議会（平成29年11月2日） <内容> [参加登録企業数 約330社] ・オフピーク通勤や時差Biz普及啓発に積極的に活動した企業・団体を「時差Biz推進賞」として表彰 ・「時差Biz推進賞」受賞企業による講演</p> <p>（4）第4回快適通勤プロモーション協議会（平成30年7月2日） <内容> [参加登録企業数 約700社] ・時差Bizサロンの開設（参加企業の交流を促進） ・時差Bizの開始宣言（参加企業の取組紹介など）</p> <p>時差Bizの実施（2017年7月11日～25日、2018年7月9日～8月10日）</p> <p>○鉄道の混雑緩和のための取組を一斉に実施 企業の取組 : 時差出勤、テレワーク、フレックスなど 鉄道事業者の取組 : オフピーク通勤への特典付与、混雑の見える化など</p> <p>○リーフレット、ポスター、動画を作成し、駅や電車内のほか、ホームページやSNS等を活用した広報展開を実施</p>	
現在の進行状況	<p>夏の時差Biz期間が終了し、参加者へのアンケートなど効果検証を行っている。</p> <p>平成30年11月27日（火）開催予定の「第5回快適通勤プロモーション協議会」では、今年度の時差Biz推進賞受賞企業の表彰・講演を実施し、先進的な取組等を広く紹介することで、時差Bizの一層の拡大を図る。</p>	
今後の見通し	<p>今年度は冬にも時差Biz期間（平成31年1月21日～2月1日）を設定し、企業や鉄道事業者はオフピーク通勤に資する取組を一斉に実施する。</p> <p>都としても、引き続きプロモーション協議会や「時差Biz推進賞」などの実施を通じ、ライフスタイルとして時差Bizが定着するような取組を検討していく。</p>	
問い合わせ先	都市整備局 都市基盤部 交通企画課	電話 03-5388-3321